

8/28

達増知事が 生産者を激励 JA全農いわて

第4回「純情産地いわて 園芸産地激励会」が開かれ、達増拓也知事がJAトマト部会の生産者を激励、意見交換をしました。知事がトマトの収穫を体験した他、意見交換会では生産者が資材高騰対策や担い手確保など、生産振興に関わる要望を知事に伝えました。



①トマトを収穫する達増知事

②③意見交換で発言する達増知事とトマト生産者

9/1

自分に合うスキンケアを JA女性部



スキンケア用品を試す部員

第1回女性部講座「美容教室」を開きました。こめ油製造で知られる築野食品工業の百田糸保美さんの指導で、米ぬかから抽出された成分が含まれるスキンケア用品について学び、自分の肌に合ったスキンケアが分かる「セルフ肌タイプ診断」を行いました。

9/1

金色の風フルコース堪能 県立千厩高等学校



金色の風を使った料理を楽しむ生徒

生産技術科3年生13人は、「金色の風」出前授業を受けました。同校主催のテーブルマナー講座と合わせて行い、レストランあさひや（千厩）の原田良一シェフによる金色の風や管内産食材を使用したフレンチフルコースを堪能し、地域農業に理解を深めました。

9/14

正しい検査業務遂行誓う



適正な検査業務を宣誓

令和8年度農産物検査員出発式をJA米集出荷センター輝で開きました。今年度は40人が検査員として任命を受け、公平かつ誠実に検査業務に当たれることを誓いました。研修会や鑑定会も併せて行われ、今年産米の検査の注意点を確認しました。

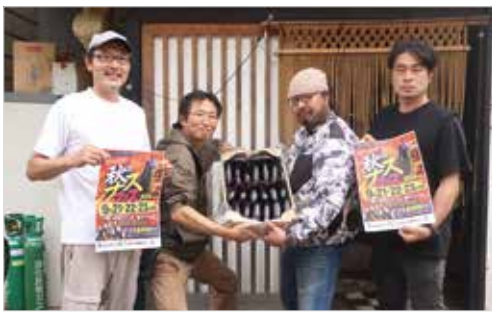
9/1

後半戦に向けて一致団結 JAなす部会



立毛共励会の表彰を受けた部会員

令和8年度中間販売実績検討会を開きました。上半期の販売実績と今後の栽培管理や出荷時の注意点を確認し、7月に行った立毛共励会の成績優秀者を表彰しました。菅原慎也部会長は「東北一のプライドにかけて、後半戦も頑張っていこう」と呼び掛けました。



若手生産者が参加店舗の酒BAR羽鶴（花泉）でPR

若手生産者が産地活性化を図ろうと、9月21～23日の3日間、管内を中心とした飲食店や量販店18店舗と協力し「やつぱり!!秋のナスフェス2026」を展開しました。今年は4年ぶりとなる秋の開催で、旬のナスを求めて各店舗で大盛況となりました。

9/14

旬のうまいナス味わって JAなす部会

米の検査を行う農産物検査員



令和8年産米の初検査をJA米集出荷センター輝で行いました。検査に先立って初検査式を行い、令和8年産米の豊作と買い入れ作業の安全を祈願しました。当日は「ひとめぼれ」など3品種32㍓全量が1等に格付けされ、幸先の良いスタートを切りました。

9/15

全量1等で滑り出し好調



トマトの選果作業を見学する児童

9/3

野菜の集出荷施設を見学 川崎小学校

3年生20人は、社会科学習の一環でJA東部園芸センターを見学しました。集出荷施設の役割や仕組み、青果物の流通を学び、地域農業や地元農産物に理解を深めました。



市社協花泉支部の佐藤正昭支部長㊤へ枕を渡すハートフル花泉支部役員

9/7

手作り枕で米寿をお祝い JAハートフル花泉支部

花泉町内で米寿を迎える住民に使用してもらおうと、長寿と健康を願って支部員が手作りの枕84個を、一関市社会福祉協議会花泉支部へ寄贈しました。



鍋つかみの完成を喜ぶ部員

8/24

便利な鍋つかみ縫い上げ JA女性部川崎中央支部

手芸教室を開き、生活シーダーの小山陽子さん（室根）の指導で鍋つかみを手縫いで作りました。端切れでできるお手軽さに部員は感心し、楽しみながら縫い上げました。



シーツやタオルを受け取る寿松苑入所者

9/14

快適な暮らしに役立てて JAハートフル川崎支部

支部員から集めたシーツやタオル50点を特別養護老人ホーム寿松苑（川崎）へ寄贈しました。また、誕生会と敬老会で歌や踊りを披露し、入所者のお祝いをしました。



教わりながら稲を束ねる児童

9/18

手刈りと機械の違い実感 厳美小学校（一関）

5年生10人は、佐藤克徳さん（一関）と地元農家の指導で稲刈りをしました。刈り取った稲をわらで束ねてホニオに掛けた他、バインダーやコンバインの違いも実感しました。



一株一株丁寧に刈り取る児童

9/16

おもちゃ楽しみに刈り取り 黄海小学校（藤沢）

5年生11人は、地元の老人クラブや耕作支援隊と一緒に稲刈りを体験しました。5月に植えた「こがねもち」を鎌で一株一株丁寧に刈り取り、束ねてホニオに掛けました。